



2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年8月13日

東・福

上場会社名 株式会社サニックスホールディングス 上場取引所
コード番号 4651 URL <https://hd.sanix.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 宗政 寛
問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 増田 道正
グループ経営本部長 TEL 092-284-5072

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第1四半期の連結業績(2025年4月1日～2025年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	10,531	2.4	△343	—	△539	—	△640	—
2025年3月期第1四半期	10,288	△7.1	△116	—	△185	—	△255	—

(注) 包括利益 2026年3月期第1四半期 △592百万円(— %) 2025年3月期第1四半期 △249百万円(— %)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	△13.40	—
2025年3月期第1四半期	△5.34	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期第1四半期	37,690	9,577	25.4	200.36
2025年3月期	36,655	10,170	27.7	212.76

(参考) 自己資本 2026年3月期第1四半期 9,577百万円 2025年3月期 10,170百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2026年3月期	—	—	—	—	—
2026年3月期(予想)	—	0.00	—	2.00	2.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	22,026	3.6	512	△21.1	257	△48.5	187	△30.6	3.92
通期	46,791	3.2	2,803	25.9	2,434	24.8	1,775	19.7	37.14

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2026年3月期1Q	48,919,396株	2025年3月期	48,919,396株
2026年3月期1Q	1,115,481株	2025年3月期	1,115,481株
2026年3月期1Q	47,803,915株	2025年3月期1Q	47,804,149株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(四半期連結損益計算書)	6
(第1四半期連結累計期間)	6
(四半期連結包括利益計算書)	7
(第1四半期連結累計期間)	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10
3. その他	11
事業領域別連結売上高	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2025年4月1日～6月30日)におけるわが国の経済は、景況感は底堅さを維持しつつも、米政権による関税政策、中東情勢等不安定な国際情勢の中、円安の影響による原材料価格やエネルギー価格の高騰、物価の上昇など、依然として先行き不透明な状況が継続しております。

このような社会情勢において、当社グループは、企業理念である「次世代へ快適な環境を」のもと、住環境領域、エネルギー領域、資源循環領域の各領域において、事業を通じた社会課題の解決を推進し、持続可能な社会づくりに取り組んでまいりました。

売上高につきましては、資源循環領域の発電事業、新電力事業において、新たな電力小売先を開拓し総販売量が増加したため増収となりました。この結果、グループ全体の売上高は10,531百万円(前年同期比2.4%増)となりました。

利益につきましては、資源循環領域の発電事業において、苫小牧発電所の法定点検及び定期修繕に伴い修繕費を計上した影響もあり、グループ全体の損益は、343百万円の営業損失(前年同期は116百万円の営業損失)、539百万円の経常損失(前年同期は185百万円の経常損失)、親会社株主に帰属する四半期純損失は640百万円(前年同期は255百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失)となりました。

なお、当社グループは、2024年5月15日に公表しました「持株会社体制への移行及び商号の変更及び定款の一部変更に関するお知らせ」のとおり、あらゆる経営環境の変化にも迅速に対応し、持続的な成長を実現していくためには、持株会社体制への移行が最適であると考え、2025年4月に商号及び定款の一部を変更のうえ、組織図等管理体制を整え、10月1日(予定)に持株会社体制へ完全移行することといたしました。住環境領域、エネルギー領域、資源循環領域ごとの事業会社を設立し事業承継することで、事業特性に応じた柔軟かつスピード感のある事業展開を行うことにより、当社グループの企業価値向上を目指してまいります。

当第1四半期連結累計期間の各セグメントの経営成績は、次のとおりであります。

<住環境領域>

住環境領域では、新規顧客の開拓を重視した営業方針を強化し、顧客基盤の拡充に向けた取り組みを推進してまいりました。また、当期より住宅環境に関する多様なニーズへの対応を図るため、H S事業とS E事業を統合し、H S E事業として「戸建て住宅のメンテナンス・リフォーム」へと事業の位置付けを変えて推進してまいりましたが、酷暑のなか作業員の安全衛生等に配慮し、稼働率等の見直しをかけたことから、住環境領域全体の売上高は3,942百万円(前年同期比1.1%減)となりました。

営業損益は、前年同期比減収となりましたが、販売費及び一般管理費等の会議費、教育費等固定費の削減効果により、547百万円の営業利益(前年同期比3.7%増)となりました。

<エネルギー領域>

エネルギー領域では、企業・法人向けに自家消費型太陽光発電システム等の販売施工、自治体へのP P A事業の提案、土地付太陽光発電所の販売、既設太陽光発電システムの機器交換、メンテナンス等に注力してまいりました。当第1四半期は、採算性を重視した受注管理を徹底し、将来の安定的かつ持続的な利益成長につながる基盤を強化した結果、売上高は1,756百万円(前年同期比0.2%減)となりました。

営業損益は、材料コストの低下等により粗利率は改善してきているものの、前年同期比減収となったこともあり、60百万円の営業損失(前年同期は76百万円の営業損失)となりました。

<資源循環領域>

資源循環領域では、売上高につきましては、「埋立処理事業」が前年同期比12.4%減となり、苫小牧発電所において、法定点検及び定期修繕の実施により稼働日数が前期比減少しました。しかしながら、「プラスチック事業」が前年同期比0.7%増、「廃液処理事業」が前年同期比11.0%増となったことに加え「発電事業」(前年同期比50.4%増)、「新電力事業」(前年同期比18.7%増)において、新たな小売先を開拓したことで電力の総販売量が増加したため増収となりました。この結果、売上高は4,753百万円(前年同期比7.6%増)となりました。

営業損益は、苫小牧発電所における減収に加え、定期修繕に伴う修繕費を計上した影響もあり、164百万円の営業損失(前年同期は189百万円の営業利益)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は37,690百万円となり、前連結会計年度末比で1,034百万円増加しました。負債合計は28,112百万円となり、前連結会計年度末比で1,627百万円増加しました。純資産合計は9,577百万円となり、前連結会計年度末比で592百万円減少しました。その結果、自己資本比率は25.4%(前連結会計年度末は27.7%)となりました。

(資産)

流動資産は13,201百万円となり、前連結会計年度末比で671百万円減少しました。主な要因は、未収入金が増加したことで流動資産のその他が774百万円増加したものの、現金及び預金が1,262百万円減少したためであります。

固定資産は24,488百万円となり、前連結会計年度末比で1,706百万円増加しました。主な要因は、建設仮勘定が増加したことで有形固定資産のその他が1,139百万円増加したためであります。

(負債)

流動負債は18,486百万円となり、前連結会計年度末比で1,575百万円増加しました。主な要因は、未払法人税等が216百万円減少したものの、未払金が923百万円、短期借入金が891百万円それぞれ増加したためであります。

固定負債は9,625百万円となり、前連結会計年度末比で51百万円増加しました。主な要因は、長期借入金が348百万円減少したものの、長期未払金が増加したことで固定負債のその他が389百万円増加したためであります。

(純資産)

純資産合計は9,577百万円となり、前連結会計年度末比で592百万円減少しました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純損失640百万円を計上したためであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の連結業績予想につきましては、2025年5月15日に公表しました連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,816	3,553
受取手形及び売掛金	4,860	4,468
商品及び製品	158	191
未成工事支出金	255	375
原材料及び貯蔵品	2,370	2,402
その他	1,509	2,284
貸倒引当金	△96	△74
流動資産合計	13,873	13,201
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,017	2,088
機械装置及び運搬具（純額）	5,972	6,363
土地	8,732	8,744
その他（純額）	2,685	3,824
有形固定資産合計	19,407	21,020
無形固定資産	337	378
投資その他の資産	3,036	3,088
固定資産合計	22,781	24,488
資産合計	36,655	37,690
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,554	1,612
電子記録債務	493	525
短期借入金	4,642	5,533
1年内返済予定の長期借入金	1,397	1,394
1年内償還予定の社債	300	300
未払金	4,264	5,187
未払法人税等	339	122
賞与引当金	287	416
再資源化費用等引当金	16	18
その他	3,614	3,374
流動負債合計	16,910	18,486
固定負債		
社債	400	350
長期借入金	3,213	2,865
役員退職慰労引当金	2	2
処分場閉鎖費用引当金	635	652
退職給付に係る負債	2,478	2,522
その他	2,844	3,233
固定負債合計	9,574	9,625
負債合計	26,484	28,112

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,205	4,205
資本剰余金	5	5
利益剰余金	7,351	6,710
自己株式	△1,481	△1,481
株主資本合計	10,080	9,439
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	85	102
為替換算調整勘定	168	159
退職給付に係る調整累計額	△164	△123
その他の包括利益累計額合計	90	138
純資産合計	10,170	9,577
負債純資産合計	36,655	37,690

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
売上高	10,288	10,531
売上原価	6,762	7,268
売上総利益	3,526	3,263
販売費及び一般管理費	3,642	3,607
営業損失(△)	△116	△343
営業外収益		
受取利息	2	0
受取配当金	2	5
受取地代家賃	10	5
固定資産売却益	13	0
補助金収入	—	91
その他	15	20
営業外収益合計	44	123
営業外費用		
支払利息	62	66
固定資産除却損	7	138
固定資産圧縮損	—	90
為替差損	37	20
その他	6	4
営業外費用合計	113	318
経常損失(△)	△185	△539
税金等調整前四半期純損失(△)	△185	△539
法人税、住民税及び事業税	49	172
法人税等調整額	20	△71
法人税等合計	70	100
四半期純損失(△)	△255	△640
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△0	—
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△255	△640

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
四半期純損失(△)	△255	△640
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△42	16
為替換算調整勘定	49	△9
退職給付に係る調整額	△0	41
その他の包括利益合計	5	47
四半期包括利益	△249	△592
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△249	△592
非支配株主に係る四半期包括利益	△0	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他事業 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	住環境	資源循環	エネルギー	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	3,985	4,415	1,760	10,161	127	10,288	—	10,288
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	3,985	4,415	1,760	10,161	127	10,288	—	10,288
セグメント利益 又は損失(△)	528	189	△76	640	△6	634	△750	△116

(注) 1. 「その他事業」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、SI(システムインテグレーション)事業、人材派遣等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用750百万円であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他事業 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	住環境	資源循環	エネルギー	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	3,941	4,749	1,756	10,448	83	10,531	—	10,531
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	0	3	—	3	—	3	△3	—
計	3,942	4,753	1,756	10,452	83	10,535	△3	10,531
セグメント利益 又は損失(△)	547	△164	△60	322	△10	311	△655	△343

(注) 1. 「その他事業」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、SI(システムインテグレーション)事業、人材派遣等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用655百万円であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する情報

当社グループは、あらゆる経営環境の変化にも迅速に対応し、持続的な成長を実現していくためには、持株会社体制への移行が最適であると考え、2025年4月に商号及び定款の一部を変更のうえ、組織図等管理体制を整え、2025年10月(予定)に持株会社体制へ完全移行することとしました。これに伴い、当第1四半期連結会計期間より報告セグメントの区分を住環境領域、エネルギー領域、資源循環領域の区分で開示しております。なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第1四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	395百万円	410百万円

3. その他

事業領域別連結売上高

(単位：百万円)

品 目	期 別	前第1四半期 連結累計期間 自 2024年4月1日 至 2024年6月30日	当第1四半期 連結累計期間 自 2025年4月1日 至 2025年6月30日	比 較 増 減
		金額	金額	金額
住環境領域計		3,985	3,942	△43
エネルギー領域計		1,760	1,756	△3
プラスチック事業		2,689	2,707	17
発電事業		379	571	191
廃液処理事業		527	585	58
埋立処理事業		264	231	△32
新電力事業		554	657	103
資源循環領域計		4,415	4,753	337
その他		127	83	△44
セグメント間の内部売上高調整額		—	△3	△3
売上高計		10,288	10,531	242